

# No.12 キーワード： 単肥

## 茨城県水戸市

### 基本情報

- ・ 県東部の広大な水田地帯で、圃場は整備され、比較的集約
- ・ 組合員数 12人
- ・ 臨時雇用 4人(野菜部門)
- ・ H19年に稲WCS作付開始

品目	作付面積	平均区画
主食米(移植)*特裁	6.5 ha	30 a
主食米作業受託	0.4 ha	— a
稲WCS(移植)	16 ha	30 a
稲WCS(直播)	0.3 ha	— a
区外稲WCS作業受託	4 ha	— a

### 経営方針

- ・ WCSの収穫は、機械を水戸市農業公社からリースし、初期投資を低減
- ・ 多肥栽培となるWCSは、耕畜連携と、単価の安い単肥(硫安)でコスト低減
- ・ 法人化、中間管理機構の活用により農地の集積を図り、営農基盤を確立(H26)

### 稲WCSの施肥改善によるコスト低減の取組

- ・ 肥料
  - ① 慣行肥料(オール14)に替えて、硫安を施用し、肥料費を低減するとともに、収量は慣行と同等以上を確保
  - ② オール14と同等の窒素量の硫安では、慣行と同等の収量を確保できなかったため、硫安の施用量を調整。

硫安 10.5kgN/10a 2,810円/10a(@267円/kgN)  
 オール14(慣行) 7.0kgN/10a 3,750円/10a(@535円/kgN)

### 導入効果

- ・ 施肥  
肥料費▲約2.5割  
(▲940円/10a、利益は約800~1,800円/10a増加)

### 支援体制

- ・ 普及センター、JA、中央会、市町村、革新支援専門員による土壌診断、栽培技術支援、実証圃(3か所、2年)の設置、各種検討会、法人化支援。市町村による耕畜連携支援。

### 課題・今後の目標

- ・ 鉄コーティング直播試験栽培を稲WCS(H27~)に導入
- ・ 稲WCS新品種の導入



肥料費削減現地検討会